

1. 平成31年度観光庁関係予算総括表

(単位：百万円)

	31年度 予算額 (A)	うち国際観 光旅客税財 源充当額	前年度 予算額 (B)	倍率 (A/B)
1. ストレスフリーで快適に旅行できる環境の整備	27,865	22,375	11,767	2.37
円滑な出入国の環境整備	7,063	7,063	1,200	5.89
円滑な通関等の環境整備	3,011	3,011	800	3.76
FAST TRAVELの推進	3,500	3,500	0	皆増
公共交通利用環境の革新等	5,500	5,500	0	皆増
ICT等を活用した多言語対応等による観光地の「まちあるき」の満足度向上	3,050	3,050	1,100	2.77
旅行安全情報共有プラットフォームを通じた旅行者の安全の確保	251	251	100	2.51
訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業	5,474	0	8,549	0.64
ユニバーサルツーリズム促進事業	16	0	18	0.90
2. 我が国の多様な魅力に関する情報の入手の容易化と観光産業の基幹産業化	14,876	5,149	10,752	1.38
ICTの活用等による先進的プロモーションの実施	5,149	5,149	1,300	3.96
戦略的な訪日プロモーションの実施	9,049	0	8,711	1.04
MICE誘致の促進	156	0	201	0.78
観光産業の生産性向上推進事業	99	0	91	1.09
観光産業における人材確保・育成事業	162	0	290	0.56
歴史的資源を活用した観光まちづくりの担い手支援・育成	13	0	25	0.54
通訳ガイド制度の充実・強化	55	0	26	2.12
健全な民泊サービスの普及	193	0	109	1.78
3. 地域固有の文化、自然等を活用した観光資源の整備等による地域での体験滞在の満足度向上	22,441	20,976	3,499	6.41
インフラを始めとした地域資源を活用したコンテンツの造成等	1,300	1,300	0	皆増
最先端観光コンテンツ インキュベーター事業	1,300	1,300	450	2.89
地域の観光戦略推進の核となるDMOの改革	2,296	2,296	0	皆増
地域観光資源の多言語解説整備支援事業	1,000	1,000	300	3.33
文化資源(文化財等)を活用したインバウンドのための環境整備	10,000	10,000	500	20.00
国立公園のインバウンドに向けた環境整備	5,080	5,080	250	20.32
広域周遊観光促進のための観光地域支援事業	1,391	0	1,848	0.75
テーマ別観光による地方誘客事業	74	0	151	0.49
4. 観光統計の整備	653	0	610	1.07
5. その他(経常事務費等)	762	0	923	0.83
合 計	66,596	48,500	27,550	2.42

公共交通利用環境の革新等

観光庁(参事官(外客受入担当)) : 5,500百万円

○ 地方部への訪日外国人旅行者の誘致の加速化に向け、我が国へのゲートウェイとなる空港・港湾から訪日外国人旅行者の来訪が特に多い観光地等に至るまでの公共交通機関の利用環境を刷新するため、訪日外国人旅行者のニーズが特に高い多言語対応、無料Wi-Fiサービス、トイレの洋式化、キャッシュレス決済対応等の取組を一気呵成に進め、シームレスで一貫した世界水準の交通サービスを実現する。

①～④をセットで整備

①多言語対応(事故・災害時等を含む)



- 多言語表記等
- スマートフォンアプリの活用等による案内放送の多言語化
- タブレット端末、携帯型翻訳機、多言語拡声装置等の整備
- 多言語バロケーションシステムの設置

②無料Wi-Fiサービス



- 旅客施設や車両等の無料Wi-Fiの整備

③トイレの洋式化



- 洋式トイレ、多機能トイレの整備

④キャッシュレス決済対応



- 全国共通ICカードの導入
- QRコードやクレジットカード対応、企画乗車券のICカード化
- 企画乗車券の発行
- レンタカーのキャッシュレス対応

※通常は整備が想定されない場合（例：②無料Wi-Fiサービス（レンタカー等）、③トイレの洋式化（バス、タクシー、レンタカー等）等）については、適用除外とする。

※①及び④については、少なくともいずれか1つ実施。

⊕ (あわせて⑤～⑦を支援可能)

⑤非常時のスマートフォン等の充電環境の確保



- 非常用電源装置・携帯電話充電設備等

or

⑥大きな荷物を持ったインバウンド旅客のための機能向上



- 段差解消やスーツケース置き場の確保

⑦移動そのものをして楽しむ取組や新たな観光ニーズへの対応



or

空港・
港湾

空港・
港湾
アクセス

長距離
(交通拠点間)
移動

二
次
交
通

周遊
地域

訪日
外
国人
旅
行
者
の
来
訪
が
特
に
多
い
観
光
地
等

補助率

1/2
(①～④)のうちのいずれかを実施済の場合は、1/3)

補助対象事業者

公共交通事業者、旅客施設の設置管理者等

訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業

観光庁(参事官(外客受入担当)) : 5,474百万円

- 全国各地の観光地において、訪日外国人旅行者がストレスフリーで快適に旅行できる環境を整備するため、地方自治体や民間事業者等が行う外国人観光案内所の機能強化、トイレの洋式化、公共交通機関の移動円滑化、旅館・ホテルのバリアフリー化等の個別の取組を支援する。あわせて、外国人観光案内所等の災害等における非常時の対応能力の強化を図る。

地方での消費拡大に向けたインバウンド対応支援事業

- 外国人観光案内所等の整備・改良等及び災害等の非常時対応の強化
○公衆トイレの洋式便器の整備及び機能向上
○手ぶら観光カウンターの機能強化
○多様な宗教・生活習慣への対応力の強化 等



宿泊施設インバウンド対応支援事業

- 基本的ストレスフリー環境整備
・Wi-Fiの整備
・案内表示の多言語化
・決済端末の整備



- ・自社サイト
多言語化等
・ムスリム受入
マニュアル作成



- バリアフリー環境整備
・トイレのバリア
フリー化
・手すりの設置



- ・段差解消
(エレベーター等)
・出入口の改修



交通サービスインバウンド対応支援事業

- 多言語表記、多言語案内用タブレット端末の整備
○旅客施設や車両等の無料Wi-Fi整備
○旅客施設や車両等のトイレの洋式化及び機能向上
○全国共通ICカード、QRコード決済等の導入
○旅客施設や車両等の移動円滑化 等



実証事業

- 災害発生時における外国人観光案内所の初動対応マニュアルの作成
○ナイトタイムエコノミー等の新たなニーズに対応した交通サービスの推進に向けた調査 等

補助率

定額、2分の1、5分の2、
3分の1、4分の1

事業主体

- (1) 地方公共団体（港務局を含む）
(2) 民間事業者（公共交通事業者等を含む。）
(3) 航空旅客ターミナル施設を設置し、又は管理する者
(4) 協議会等

(3) 地域固有の文化、自然等を活用した観光資源の整備等による地域での体験滞在の満足度向上

インフラを始めとした地域資源を活用したコンテンツの造成等

観光庁(観光資源課) : 1,300百万円

- インフラを始めとした地域の観光資源のインバウンド対応を行い、新たなツアー造成を図ることで新たな観光需要の創出を図るとともに、クルーズ旅客等の満足度向上・消費拡大を促進する。

【事業内容】

- 以下のインバウンド向けのツアー造成に向け、多言語案内板・Wi-Fi環境の整備、洋式トイレの整備、見学エリア拡大に伴う安全対策、VR等を活用した体験型コンテンツの作成、ファムツアー等を実施する。

①世界に誇る日本の土木技術等を観光資源として活用するインフラツーリズム

【対象予定地域】：首都圏外郭放水路・八ッ場ダム・宮ヶ瀬ダムなどインバウンド需要が見込める施設】

②クルーズ旅客等が利用する港湾周辺での水上交通及び地域の資源を活用したツアー（直轄事業、補助事業※）

【対象予定地域】：第二海堡（東京湾）や水上交通でつながる地域の観光資源】

※補助事業 国費率：1／3、補助対象事業者：港湾管理者、地方自治体、民間事業者

インフラを観光資源として活用するインフラツーリズム

首都圏外郭放水路



首都圏外郭放水路の一般見学

宮ヶ瀬ダム



観光放流

八ッ場ダム



工事中の現場見学

水上交通及び地域の観光資源を活用したツアーイメージ

クルーズ船

水上交通
発着地

市内観光



第二海堡（東京湾）や離島等の地域の観光資源



第二海堡開放のトライアルツアー